

大会実施概要(抜粋)

15. 大会出場選手について

- ・大会に出場するチームは、東京大会の2週間前までに日本協会規定「チーム登録に関する規定」第3章第9条に基づく登録を行い、選手・役員登録を完了していること。
- ・出場チームは、外国において登録をされたことのある外国人選手を登録しようとするときは、前所属チーム及び前所属協会の移動許可書(WRの標準書式による「移動許可 Clearance」)を提出しなければならない。

(1) 選手資格(新規追加規定)

- 1) シリーズを通してのスコッド登録を4月15日までとし、そのスコッド以外からの大会登録(12名)は認めない。その後6月末までに3名以内(日本籍選手のみ)の追加登録を認める。
- 2) 外国籍選手資格
 - ① シリーズを通しての登録を4月15日までとし、登録選手以外の出場を認めないこととする。追加登録は認めない。
 - ② 原則として、留学もしくは就労等を目的とした日本に居住していることを条件とする。
※来年度以降は在留カードなどのエビデンスの提出をトップリーグ同様に義務化する。(2018年度は経過措置として、特にエビデンス提出は不要)
 - ③ 2018年度は上記経過措置を補完するため、オン・ザ・ピッチの外国籍選手の人数枠を設け半数以下となる3名以下とする。
- 3) 大会スコッド選手は、大会第1戦までに日本協会規定「チーム登録に関する規定」第3章第9条に基づく登録を行い、選手・役員登録を完了していることとする。
- 4) 高校生出場制限について
 - ① 出場条件として、継続として1年以上チームに所属している、高校2年生以上とする
 - ② ①を満たし、コアチーム及び、地域予選大会に出場を予定する高校生選手に関しては全員、JSC助成事業で進めている「傷害予防プログラム」の受講を義務化する。
※来期以降の大会の出場選手については、2001年4月1日以前に生まれた者とする。(高校生の出場は不可)

(2) 試合出場選手登録について

- ① 大会出場選手登録は、各大会週の48時間前までとし所定のフォーマットに記入の上、提出すること。それ以降の登録メンバーに変更がある場合は、各大会の代表者会議開始までに「選手登録変更用紙」ならびに「出場選手医学的診断書」に必要事項を記入の上、提出すること。
- ② 同一選手の異なるチームへの二重登録は原則認めない。ただし、選抜チーム等での出場については、別チームでの登録を認める。

16. 選手エントリー

- ・当日の試合ごとの登録選手は12名までとし、競技区域内にいるプレーヤーの人数は7名を超えてはならない。
- ・オン・ザ・ピッチの外国籍選手の人数枠について「15. 大会出場選手について(1) 選手資格 2) ③」にて記載

17. コイントス

大会本部付近にて試合担当レフリーにより実施する。試合時間の15分前に実施する。

18. 試合前・試合中のウォーミングアップ

試合前のウォーミングアップは両インゴール裏を使用すること。但しインゴール裏スペースについては出場する1試合前のチームのみ使用できる。試合中のウォーミングアップについてはテクニカルゾーン横で実施すること。
※会場によってはウォーミングアップがインゴールでできない場合があるので、指定の場所で実施すること。

19. 選手の入替・交替

- ① 選手の入替、及び交代の際は大会本部にて準備する「選手入替・交替申請用紙」を使用し、マッチオフィシャルへ提出すること。
- ② リザーブ選手は、1チームあたり5名以内とする。
- ③ 入れ替ったプレーヤーは、たとえ負傷したプレーヤーの交替としても、その試合に再び加わることはできない。ただし、不正なプレーを受け負傷した選手はその限りではない。
※例外) 入れ替ったプレーヤーは、傷口が開いている、または、出血しているプレーヤーと交替してもよい。

20. シンピン・ブラッドピン

・シンピン:

- ① イエローカードを提示された際の一時的退出時間は2分間(オンプレータイムで計測)。
- ② 1試合の中で、同一競技者が2回のイエローカード(警告)が与えられた場合は、退場処分とする。
- ③ 大会期間中でのイエローカード累積5枚に達したものは、1試合中に2枚イエローカードをもらわない限り、継続してその試合には出場できるが、次の1試合には出場できない。
- ④ レッドカードを提示された際は、即退場処分とし、次の1試合には出場できない。※チームエリアに留まることは可能。

大会実施概要(抜粋)

- ・ブラッドピン: 出血処置による一時的交替は15分以内。(15人制同様ルール/ランニングタイムで計測)
 - 止血処置は原則チームドクターが対応することとし、再出場の判断はマッチドクターの確認を必要とする。
 - マッチドクターはチームドクター、レフリー、及びアシスタントレフリー要請に応じて処置をし、その際は出場可否の判断をする。

21. ドーピング検査

- 1) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- 2) 本大会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- 3) 20歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- 4) 本大会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- 6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

22. 表彰贈呈物

- ・大会毎に、カップ優勝(ゴールドプライズ)、準優勝(シルバープライズ)、3位(ブロンズプライズ)、チャレンジトロフィーを表彰する。また個人賞として大会 MVP を表彰する。
- ・全4大会終了後、シリーズ加算ポイントにより年間優勝を決定、年間 MVP と合わせて表彰する。

23. 年間表彰式

2018年度シーズンの年間表彰式については、鈴鹿大会の会場にて実施。

24. 入替戦について

- 次年度のシリーズ参加チームについては、入替戦を実施して決定する。
- ① 年間総合順位(チャレンジチームを除く)下位チームが入替戦に出場しなければならない。
 - ② 入替戦の日程・会場・大会方式は別途、主催者より伝達される。
 - ③ 入替戦により、来季の出場チームを決定する
※11月17日又は18日に実施で検討。(場所については未定)

25. シリーズ加算ポイント

順位	Point
カップ優勝(1)	20
準優勝(2)	18
3位(3)	16
4位(4)	14
5位(5)	12
6位(6)	10
7位(7)	8
8位(8)	6
9位(9)	4
10位(10)	3
11位(11)	2
12位(12)	1

()内は順位